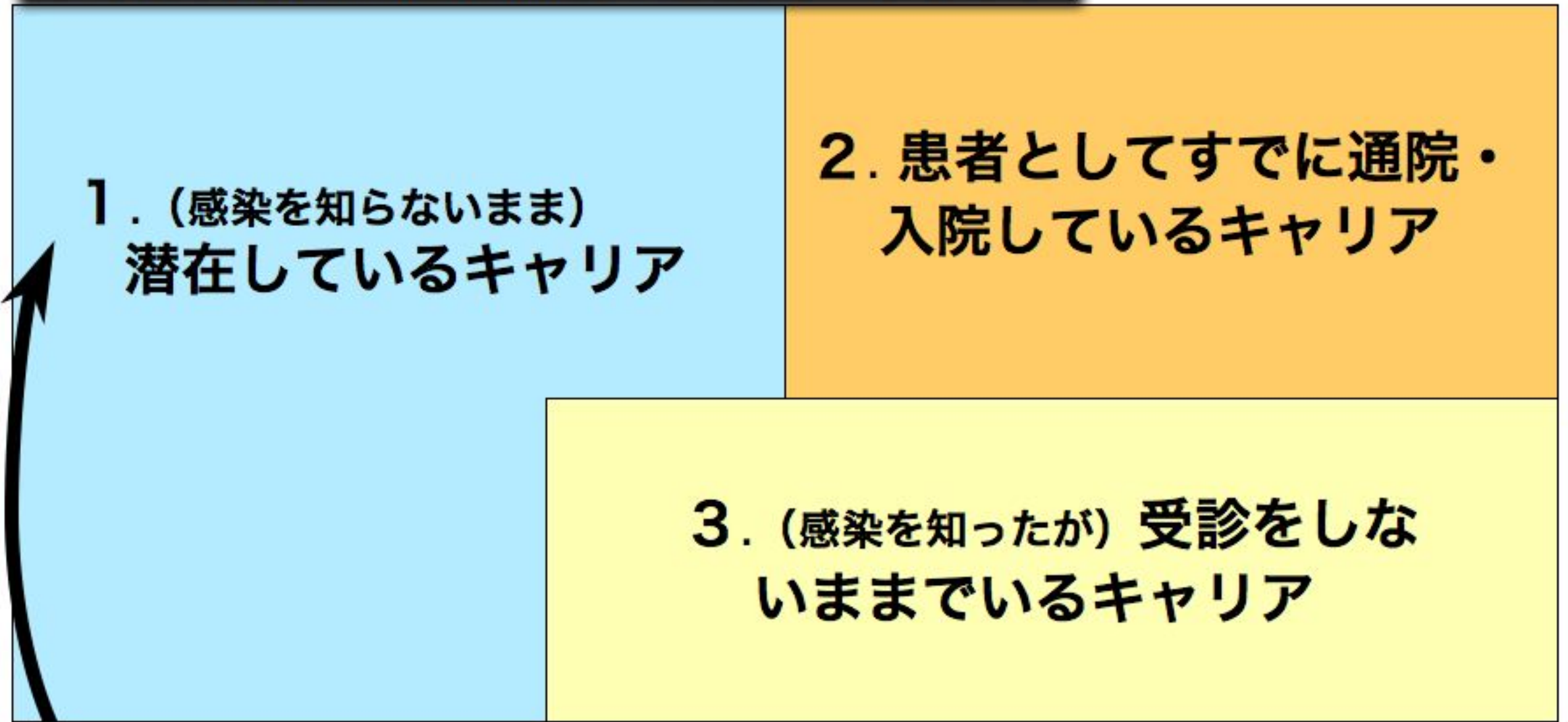


患者数・感染者数について

ウイルスの持続感染状態にある人：キャリア



無症状の集団におけるキャリア率を元に、算出したキャリア数

2000年以後に得られた大規模集団の成績を用いた解析

2000年以後の大規模集団の成績から得られた HBV、HCVキャリア率

- ・ 初回供血者集団における出生年、年齢別にみたHBs抗原陽性率およびHCV抗体陽性率

2001～2006年 献血群 3,748,422人
(2001.1～2006.12)

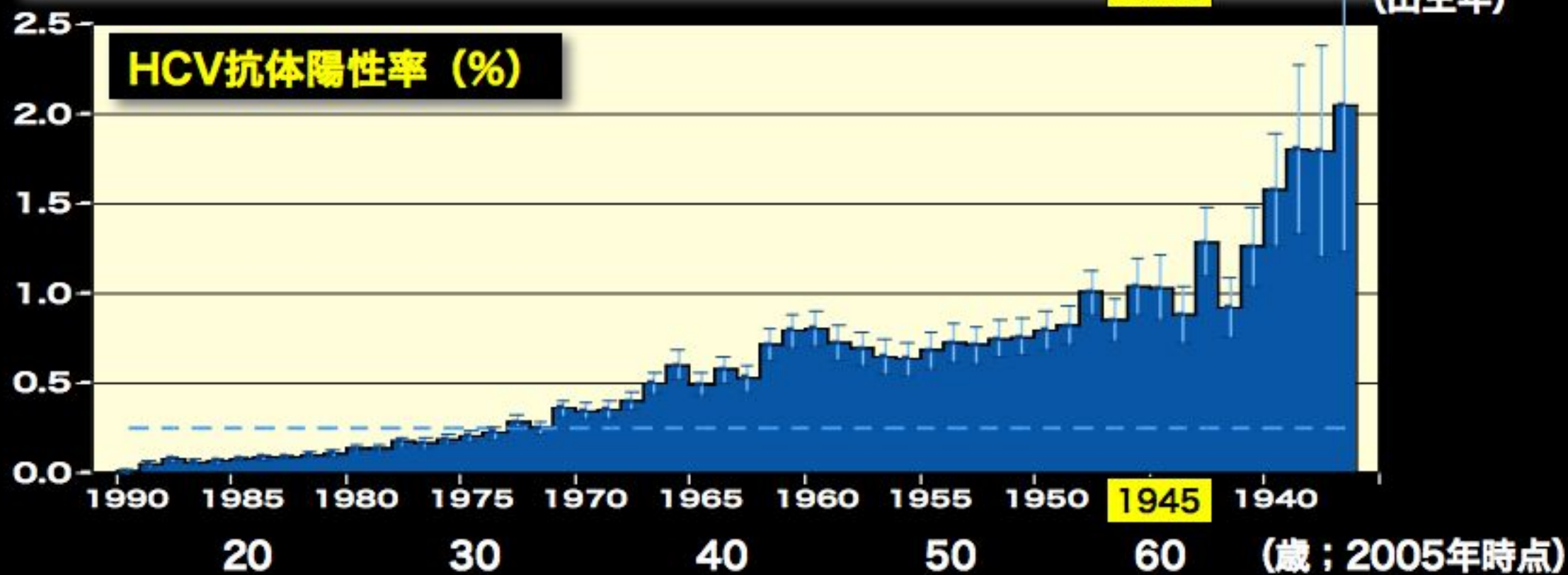
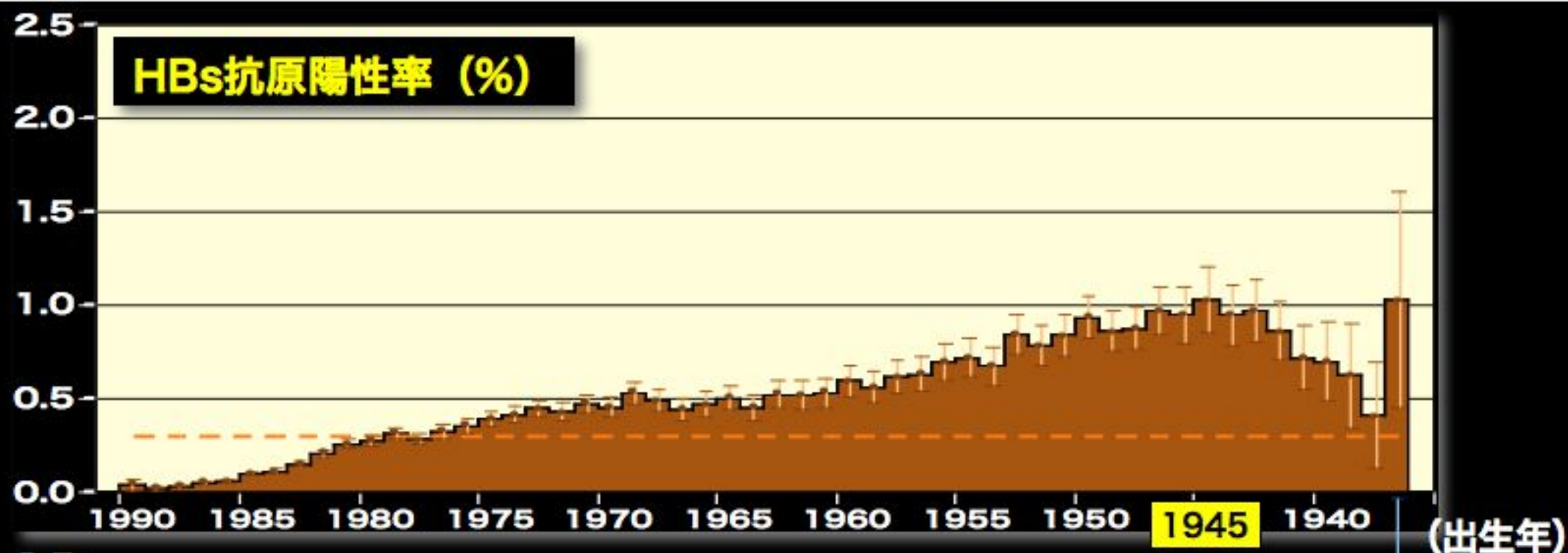
- ・ 節目検診受診者集団における出生年、年齢別にみたHBVキャリア率およびHCVキャリア率

2002年度～2006年度 HBV検査 8,704,587人
(2002.4～2007.3) HCV検査 8,634,509人

出生年および年齢別にみたHBs抗原陽性率、HCV抗体陽性率

日本赤十字社 2001.1~2006.12

初回供血者 3,748,422人




肝炎ウイルス検診

期 間：平成14～18年度（2002.4～2007.3）

目 的： 肝炎による健康障害の回避
肝発がんの予防、早期発見による肝がん死亡の減少

対象ウイルス： C型肝炎ウイルス（HCV）
B型肝炎ウイルス（HBV）

実 施 方 法： 節目検診 …… 40歳から70歳まで5歳毎
節目外検診 …… 肝炎ウイルス感染のリスクが高いと
考えられる集団



B型肝炎ウイルス検査	： 受診者	8,704,587人	
	： HBVキャリア数 (%)	100,983人	(1.2)
C型肝炎ウイルス検査	： 受診者	8,634,509人	
	： HCVキャリア数 (%)	99,950人	(1.2)

【肝炎ウイルス検診】 — 2002年度～2006年度 —

節目、節目外検診別にみた受診者数およびHBV・HCVキャリア率

